



関東学院大学

◆ リリースに関するお問合せ先 ◆

2015年9月15日

関東学院大学 広報室

TEL:045-786-7049

2030年 未来の住宅を提案「エネマネハウス 2015」 省エネルギーと快適さが共存する住宅を、関東学院大学が提案 横浜・みなとみらい21地区で9月24日から施工開始

関東学院大学(本部:横浜市金沢区 学長:規矩大義)は、大学と企業が連携して将来の「ネットゼロエネルギー」を目指した住宅を提案するプログラム「エネマネハウス 2015」に挑戦します。9月24日(木)から、学生も参加する施工工事が横浜市西区のみなとみらい21地区で行われ、10月半ばからの一般向け展示を予定しています。

エネマネハウスとは、経済産業省資源エネルギー庁が実施する事業の一環として、「学生が考える、将来の家」をテーマに、エネルギー、ライフ、アジアの観点から大学と建築関連企業が共同で将来の「ゼロエネルギー住宅」を提案するプロジェクトです。2014年1月に、東京・東雲に5大学が提案したモデルハウスが建築・展示され、東京大学を代表とするチームが最優秀賞を獲得しました。今年度は、関東学院大学の他に、芝浦工業大学、山口大学、立命館大学、早稲田大学の4大学が同プログラムに採択されています。

関東学院大学では、建築・環境学部の5研究室を中心として同事業に挑戦。省エネルギーを実現するだけでなく、生活する人が「気持ちがいい」と感じられる2030年のすまいをデザインします。屋上に創エネシステムと庭(菜園)を配置した新しい庭付き一戸建てを、『グリーンハット2030』関東学院大学 ZEH プロジェクト」と名付けて提案。透明断熱材を利用し、高い断熱性能と柔らかな明るさを両立させます。関東学院大学の教員や学生とともに、27企業の協力を得ながら事業を進めています。住宅の施工工事後には、一般向けの展示や省エネルギー性能の実証実験が予定されています。

関東学院大学では、「エネマネハウス 2015」への参加を通じて、住宅建築を学生が実体験として学ぶ機会を設けるとともに、21世紀型の「環境」と「人」に配慮した住宅のあり方を提案します。

エネマネハウス 2015 (予定)

施工期間：9月24日(木)～10月12日(月)

展示期間：(1) 10月16日(金)～10月20日(火)

(2) 10月30日(金)～11月1日(日)

展示場所：みなとみらい21地区 57街区 (横浜市西区高島 1-2-73)

プロジェクトチームの概要

関東学院大学：粕谷淳司研究室(統括・意匠)、大塚雅之研究室(水環境)、遠藤智行研究室(空気環境)、山口温研究室(光・熱環境)、神戸渡研究室(木質構造)

協力企業：桧家グループ(桧家ホールディングス)、旭硝子、ノーリツ、NEC、石巻工業、fabricscape、植物自由区、ぬり貫、カネカ、カネカケンテック、クワザワ、吉銘、積水化学工業、栄住産業、リクシル、TOTO、ポラテック、京セラソーラーコーポレーション、チリウヒーター、カツデンアーキテック、日本アクア、アドヴァン、朝日工業社、東テック、小西泰孝建築構造設計、ソノベデザインオフィス、カスヤアーキテクトオフィス

取材等に関わるお問合せ先

関東学院大学 広報室 安田智宏 鈴木敦 TEL.045-786-7049

横浜市金沢区六浦東 1-50-1 kouhou@kanto-gakuin.ac.jp